

デニム端材や回収したデニム製品を活用したアップサイクルの取組事例

- デニム生地製造に特化したテキスタイルメーカーである篠原テキスタイル株式会社は、福山市や福山市内の企業と連携し、デニム端材や回収したデニム製品を活用したアップサイクルに取り組んでいる。

篠原テキスタイル株式会社における事例

取組み概要

SHINOTEX（オリジナル雑貨ブランド）

- デニムの製造過程で発生する残糸や端材を素材とした商品を提案。
- 生地になれなかった糸を活用した靴下や、デニム生地を活用したルームシューズ等の商品を販売。

FUKUYAMAアップサイクルプロジェクト

- 福山市や福山市内の企業（11団体）と連携し、デニム製品を回収する仕組みを構築。
- 回収したデニム製品をほぐして繊維の状態に戻した後（反毛）、糸として再生し、新しい生地を製造することで、地域内で生産から回収、再生産まで一貫して循環させている。
- 回収拠点は8カ所に拡大し、地域内外での関心も高まっている。

アップサイクル靴下



回収したデニム製品から紡績された糸



効果

FUKUYAMAアップサイクルプロジェクト

- 取組開始から1か月で297点・100kg以上のデニム製品を回収。
- クラボウ安城工場で反毛・紡績を行い、反毛した繊維20%に新しい綿80%を混ぜて糸を紡ぎ、ジーンズ約300本分に相当する広幅の生地500m分を製造。

企業名



SHINOTEX
篠原テキスタイル株式会社

篠原テキスタイル株式会社

設立年

1978年

売上高

非公開

企業概要

- 織物製造販売